

◎：DPの達成に大いに貢献する
○：DPの達成に貢献する

○：DPの達成に貢献する							DP1	DP2	DP3	
							高度な専門性と学識	豊かな教養	自律・協働する力と物事をかたちにする力	
							DP1-1	DP2-1	DP3-1 DP3-2	
No	科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			獣医学に関する最先端の科学技術を習得し、高度な学識と技能に基づいて研究を遂行できる。	獣医学・獣医療分野で研究の国際化に対応できる実践的なコミュニケーションができる	生命の科学的理解と論理的思考、高い生命倫理観と研究者倫理観に基づき、研究者あるいは高度専門家として、自ら問題意識を持ち、獣医学を取り巻く諸問題に対応または解決できる	リーダーとして高い素養を備え、社会で活躍できる
必修	選択	自由	備考							
1	共同教育科目 共通科目	基礎獣医学特別講義（動物細胞機能学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
2		基礎獣医学特別講義（発生遺伝学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
3		基礎獣医学特別講義（生物機能薬理学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
4		基礎獣医学特別講義（分子薬理学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
5		基礎獣医学特別講義（獣医生理生化学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
6		基礎獣医学特別講義（動物細胞工学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
7		応用獣医学特別講義（病原微生物学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
8		応用獣医学特別講義（実験病理学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
9		応用獣医学特別講義（感染免疫学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
10		応用獣医学特別講義（病原細菌学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
11		応用獣医学特別講義（細菌遺伝子工学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
12		応用獣医学特別講義（感染症学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
13		応用獣医学特別講義（人獣共通感染症学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
14		応用獣医学特別講義（獣医微生物学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
15		応用獣医学特別講義（栄養代謝学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
16		応用獣医学特別講義（馬臨床細菌学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
17		応用獣医学特別講義（病原ウイルス学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
18		応用獣医学特別講義（獣医病理学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
19		応用獣医学特別講義（環境感染症学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
20		臨床獣医学特別講義（低侵襲外科学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
21		臨床獣医学特別講義（腫瘍外科学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
22		臨床獣医学特別講義（小動物臨床免疫学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
23		臨床獣医学特別講義（寄生虫学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
24		臨床獣医学特別講義（進化系統寄生虫学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
25		臨床獣医学特別講義（産業動物獣医学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
26		臨床獣医学特別講義（繁殖生理管理学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
27		臨床獣医学特別講義（大動物救急外科学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
28		臨床獣医学特別講義（侵襲制御学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
29		臨床獣医学特別講義（伴侶動物内科学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
30		臨床獣医学特別講義（生殖工学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
31		臨床獣医学特別講義（牛臨床獣医学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
32		基礎獣医学特別講義（分子細胞生物学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
33		基礎獣医学特別講義（実験動物学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
34		基礎獣医学特別講義（ゲノム医科学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
35		基礎獣医学特別講義（細胞薬理毒性学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
36		基礎獣医学特別講義（分子薬理毒性学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
37		基礎獣医学特別講義（自律機能生理学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
38		応用獣医学特別講義（衛生微生物学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
39		応用獣医学特別講義（感染症学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
40		応用獣医学特別講義（獣医ウイルス学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
41		応用獣医学特別講義（寄生虫病学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
42		応用獣医学特別講義（腫瘍病理学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
43		応用獣医学特別講義（感染性微生物学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
44		応用獣医学特別講義（人獣共通感染細菌学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
45		応用獣医学特別講義（感染症制御学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
46		応用獣医学特別講義（分子ウイルス学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
47		応用獣医学特別講義（動物病理学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
48		臨床獣医学特別講義（家畜臨床生化学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
49		臨床獣医学特別講義（内科診断学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
50		臨床獣医学特別講義（臨床細胞学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
51		臨床獣医学特別講義（大動物内科学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
52		臨床獣医学特別講義（比較病態解析学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
53		臨床獣医学特別講義（外科診断治療学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
54		臨床獣医学特別講義（運動器診断治療学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
55		臨床獣医学特別講義（臨床繁殖学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
56		臨床獣医学特別講義（馬臨床獣医学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
57		臨床獣医学特別講義（伴侶動物腫瘍学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
58		臨床獣医学特別講義（産業動物栄養学特別講義）	1・2・3	2			◎		○	
59	門 教 養 科	研究者行動規範特論	1・2・3	1						◎
60		知的財産特論	1・2・3	1						◎
61		専門科学英語スキル	1・2・3	1					◎	
62	先 端 実 践 科 目	プレゼンテーションスキル	1・2・3		1	※ 獣医科学コースのみ必修		◎		
63		学術情報収集スキル	1・2・3		1	※ 獣医科学コースのみ必修	◎	○		
64		機関研修スキル	1・2・3		1	※ 獣医科学コースのみ必修	◎		◎	
65	特別専修科目	特別専修スキル	1・2・3		3	※ 獣医専修コースのみ必修	○		◎	
66	コ ー ス 科 目 （ 研 究 推 進 科 目 ）	基礎獣医学特別演習（動物細胞機能学特別演習）	1・2・3	2			◎		◎	
67		基礎獣医学特別演習（発生遺伝学特別演習）	1・2・3	2			◎		◎	
68		基礎獣医学特別演習（生物機能薬理学特別演習）	1・2・3	2			◎		◎	
69		基礎獣医学特別演習（分子薬理学特別演習）	1・2・3	2			◎		◎	
70		基礎獣医学特別演習（獣医生理生化学特別演習）	1・2・3	2			◎		◎	
71		基礎獣医学特別実験（動物細胞機能学特別実験）	1・2・3	2			◎		◎	
72		基礎獣医学特別実験（発生遺伝学特別実験）	1・2・3	2			◎		◎	
73		基礎獣医学特別実験（生物機能薬理学特別実験）	1・2・3	2			◎		◎	
74		基礎獣医学特別実験（分子薬理学特別実験）	1・2・3	2			◎		◎	
75		基礎獣医学特別実験（獣医生理生化学特別実験）	1・2・3	2			◎		◎	
76		応用獣医学特別演習（病原微生物学特別演習）	1・2・3	2			◎		◎	
77		応用獣医学特別演習（実験病理学特別演習）	1・2・3	2			◎		◎	
78		応用獣医学特別演習（感染免疫学特別演習）	1・2・3	2			◎		◎	
79		応用獣医学特別演習（病原細菌学特別演習）	1・2・3	2			◎		◎	
80		応用獣医学特別演習（細菌遺伝子工学特別演習）	1・2・3	2			◎		◎	
81		応用獣医学特別演習（感染症学特別演習）	1・2・3	2			◎		◎	
82		応用獣医学特別演習（人獣共通感染症学特別演習）	1・2・3	2			◎		◎	
83		応用獣医学特別演習（獣医微生物学特別演習）	1・2・3	2			◎		◎	
84		応用獣医学特別演習（獣医病理学特別演習）	1・2・3	2			◎		◎	
85		応用獣医学特別演習（環境感染症学特別演習）	1・2・3	2			◎		◎	
86		応用獣医学特別演習（栄養代謝学特別演習）	1・2・3	2			◎		◎	
87		応用獣医学特別実験（病原微生物学特別実験）	1・2・3	2			◎		◎	
88		応用獣医学特別実験（実験病理学特別実験）	1・2・3	2			◎		◎	
89		応用獣医学特別実験（感染免疫学特別実験）	1・2・3	2			◎		◎	
90		応用獣医学特別実験（病原細菌学特別実験）	1・2・3	2			◎		◎	
91		応用獣医学特別実験（細菌遺伝子工学特別実験）	1・2・3	2			◎		◎	
92		応用獣医学特別実験（感染症学特別実験）	1・2・3	2			◎		◎	
93		応用獣医学特別実験（人獣共通感染症学特別実験）	1・2・3	2			◎		◎	
94		応用獣医学特別実験（獣医微生物学特別実験）	1・2・3	2			◎		◎	
95		応用獣医学特別実験（獣医病理学特別実験）	1・2・3	2			◎		◎	
96		応用獣医学特別実験（環境感染症学特別実験）	1・2・3	2			◎		◎	
97		応用獣医学特別実験（栄養代謝学特別実験）	1・2・3	2			◎		◎	
98		臨床獣医学特別演習（低侵襲外科学特別演習）	1・2・3	2			◎		◎	
99		臨床獣医学特別演習（腫瘍外科学特別演習）	1・2・3	2			◎		◎	
100		臨床獣医学特別演習（小動物臨床免疫学特別演習）	1・2・3	2			◎		◎	
101		臨床獣医学特別演習（寄生虫学特別演習）	1・2・3	2			◎		◎	
102		臨床獣医学特別演習（進化系統寄生虫学特別演習）	1・2・3	2			◎		◎	

◎：DPの達成に大いに貢献する
○：DPの達成に貢献する

No	科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			備考	DP1	DP2	DP3	
								高度な専門性と学識	豊かな教養	自律・協働する力と物事をかたちにする力	
								DP1-1	DP2-1	DP3-1	DP3-2
				必修	選択	自由		獣医学に関する最先端の科学技術を習得し、高度な学識と技能に基づいて研究を遂行できる。	獣医学・獣医療分野で研究の国際化に対応できる実践的なコミュニケーションができる	生命の科学的理解と論理的思考、高い生命倫理観と研究者倫理観に基づき、研究者あるいは高度専門家として、自ら問題意識を持ち、獣医学を取り巻く諸問題に対応または解決できる	リーダーとして高い素養を備え、社会で活躍できる
103		臨床獣医学特別演習（産業動物獣医学特別演習）	1・2・3		2			◎		◎	
104		臨床獣医学特別演習（繁殖生理管理学特別演習）	1・2・3		2			◎		◎	
105		臨床獣医学特別演習（大動物救急外科学特別演習）	1・2・3		2			◎		◎	
106		臨床獣医学特別演習（侵襲制御学特別演習）	1・2・3		2			◎		◎	
107		臨床獣医学特別演習（生殖工学特別演習）	1・2・3		2			◎		◎	
108		臨床獣医学特別実験（低侵襲外科学特別実験）	1・2・3		2			◎		◎	
109		臨床獣医学特別実験（腫瘍外科学特別実験）	1・2・3		2			◎		◎	
110		臨床獣医学特別実験（小動物臨床免疫学特別実験）	1・2・3		2			◎		◎	
111		臨床獣医学特別実験（寄生病学特別実験）	1・2・3		2			◎		◎	
112		臨床獣医学特別実験（進化系統寄生虫学特別実験）	1・2・3		2			◎		◎	
113		臨床獣医学特別実験（産業動物獣医学特別実験）	1・2・3		2			◎		◎	
114		臨床獣医学特別実験（繁殖生理管理学特別実験）	1・2・3		2			◎		◎	
115		臨床獣医学特別実験（大動物救急外科学特別実験）	1・2・3		2			◎		◎	
116		臨床獣医学特別実験（侵襲制御学特別実験）	1・2・3		2			◎		◎	
117		臨床獣医学特別実験（生殖工学特別実験）	1・2・3		2			◎		◎	
118	自由科目	ジョブ型研究インターンシップ	1・2・3・4			2		◎		◎	